

## これぞ、大学試験問題？

医学部学生 磯部尚幸

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。霞キャンパスの学生を代表して、心より皆さんを歓迎いたします。桜の花が咲きあふれるように喜びと、これから始まる学生生活に夢と希望で胸いっぱいのことだと思います。いよいよ大学生！そんな皆さんに質問します。「大学とはどんなところだと思いますか？」学問をし、研究をする場・社会に旅立つ前の人間修業の場・自由な時間を与えてくれる場・就職するための職業安定所・受験地獄を通り抜けた人達の憩いの場・それともレジャーランド……？ 何でしょう。

大学は御存知のとおり、中学までの義務教育でもありませんし、多くの高校がそうだったと思われる管理教育でもありません。例えば、服装制限はありませんし、ホームルームや清掃の時間、始業式も終業式もありません。春季・夏季休暇は約1か月半あります。おまけに二週間の秋季休暇もあります。講義も大抵のものは自主性に委ねられ、試験による単位制で、単位で進級が左右されます。

私も入学当初、人並に考えてみました。その頃「女子大生」という言葉が週刊誌上をにぎわせており、海外旅行を楽しむ学生達とか本業を忘れ遊びふける学生、リッチな生活を送る学生達、レジャー産業は学生を標的に！などと「最近の学生は……」という感じで様々に批評されていました。(地方の国立大学生、広大生にはあまり縁も所もない話のような気がします。) 書店のコーナーにも、「大学とは」「大学の存在意義」あるいは大学生活のノウハウシリーズや処世術的なものが並べられていました。先輩からは、「学生時代しか暇がないのだから、しっかり遊んでおけよ。」とか「やりたい事を見つけてそれに励めよ。」などいろいろとアドバイスされながらも、これといったものが自分の中で見つからず、結局何とはなしに数か月が過ぎてしまいました。(今にして思うと何ともったいない事を。)

そんな折、テレビのトーク番組だったと思いま

すが、ある有名人と司会者との対談の中でハッさせられるような場面に遭遇しました。若者に対するコメントとして七つの問い合わせがあったのです。その一つに「誰にでもおはようと言えるか。」というのがありました。おはよう=挨拶！小さい頃から人に会ったら挨拶しなさいと親にしつけられ、小学校でも大きな声で元気よくと、時には幾度も繰り返しさせられたり。極めて基本的な礼儀の一つである「おはよう」という言葉が最近縁遠くなっていた自分に気づき驚きました。未踏の地広島に来て、友人や顔見知りの人がまだ少ないため機会が減少したということもありますが、いささか寂しい念に駆られました。挨拶というのは、自然に行われるもので、人と人との関係をより親密なものにしてくれて、あまり面識のない人達でも幾度か挨拶を交わしていくうちに打ち解けてくるというのもよくある話です。その一言で何となく気分がすっきりしてその一日が随分快適に過ごせたということもあるでしょう。

第二に「自分の持っている何かを他の人に与えているか」というものです。「えっ！ 何を偉そうな」と思うかもしれませんのが実は皆さん平気でやっているのです。例えば会話。「あの人の話は面白い」と思えば自然と話す回数が増えるでしょう。物事は give & take でお互いが発展していくという言葉に、いたたまれなくなる自分でした。また、これには知識だけでなく心という問題も含まれており、奪うことばかりを考える人が多い世の中、可能な限り心を尽くす=やさしさを見失ってはいませんかと。この体験は私にとって意義深いものでした。

先に挙げた質問ですが、解答は各自で出していって下さい。もちろんカンニングは認めません。

なお、疑問点・不明点がある人はどなたに尋ねても構いません。相談も結構です。締切期限は卒業式当日まで。正解発表は？ 考えていただければ「優」です。頑張って下さい。健闘を祈ります。